

激変する人材採用戦線

を行く



第2回

狙われる 業界の人材たち

冷え込むパチンコ市況から将来不安を理由とする人材流出が問題になっている。だが理由はそれだけではなさそうだ。採用意欲の高い異業種がパチンコ業界で育成された人材に食指を伸ばしていることも輪をかけている気配だ。

——業界の先行き不安を理由に異業種への転職希望が目立ってきた背景に、ひと頃前までトレンドだったパチンコとは謳わない採用姿勢、すなわちアミューズメントやレジャーという打ち出し方が遠因していたとの見方が前回示されました。そして大手を中心にそういう姿勢を改める機運が高まっていることに触れられていましたね。そうですね。入社後長く活躍している人材に、じつはパチンコユーザー比率が高かったという分析データを割り出した大手法人もあります。この結果を踏まえ現在で

は採用時の適性診断の中に「パチンコが好きかどうか」を加えているようです。こうした動きに象徴されるようにパチンコに熱を持った人材を求めるマインドが強くなっています。——中小の場合はどうですか？ 中小の場合はもとより中途採用が中心です。以前まではアルバイト採用を入口にしているケースが多かった印象がありました。現在はアルバイトが非常に採りにくい状況です。このため社員を増やしていこうという動きが広がっています。当然社員ですから長く働

いてもらいたいという要求は高まっていますが、業界環境が著しく変化している現状においては更にその傾向です。「パチンコに対する熱」があるかを重視する動きは規模の大小を問わず業界全体に広がっています。また、最近ホール企業間のM&Aが活発になっていますが、注目したいのは買収する側が買収先の社員を厚遇する傾向が顕著になってきていることです。人材採用の難易度がさらに高まる中で、ひとりでも多くの人材に留まってもらいたいという重要性はますます高まっているといえます。企業により狙いや思惑は変わるとは思いますが、買収先社員の定着率が高まればブランドイメージも良くなり、今後の事業拡大における増員や採用計画においてプラスになるはずですよ。このようなことも業界環境の変化とマインドの変化に根差していることが考えられます。

予算をかけた人材を高く評価する異業種

ところで異業種への人材流出が目立っているのには、異業種から狙われていることも挙げられます。——狙われている？

飲食、介護、運送、不動産など採用難、不人気、人材不足が深刻な業種がパチンコ業界からドロップ

アウトする人材に狙いをつけ積極的にアプローチを仕掛けていきます。人材育成に予算を割いているホール企業は実に多く、このため他業種から見ればアベレージ以上の質を備えた人材の宝庫に映り、顧客対応や厳しい労働環境への耐性が備わっているということも魅力を感じる点なのでしょう。厳しい冷え込みさらされる業界の現況について人材の獲得に露骨な動きを見せています。特にTVCMで流れるような大手求人媒体でそのような動きは本場に活発です。例えば「パチンコ」で求人を探しているにも関わらず先に述べた業種求人がズラリと露出されます。初心者大歓迎の文字を羅列し応募への動機づけも抜かりがない。パチンコ関連の求人はずらりと埋もれるような形でごく一部が露出される程度で他業種求人へ誘導するように仕組まれています。このようなことも業界から人材が流出する要因、拍車が掛るきっかけといえるでしょう。ホール様には是非こうした現実を知ってほしいと思います。パチンコ業界で育った人材はたとえ転職するにせよパチンコ業界にとどまっていきたいと切に思いますし、そうあるべきです。

まつばやし・たかゆき

株式会社バック・エックス取締役CEO 兼 株式会社ピー・ワークPRO代表取締役社長。大学卒業後、大手人材サービス会社を経て2000年にバック・エックスに中途入社。以来、10,000人以上の業界転職を支援、ホール企業と人材の出会いを創造する。